

医療法人財団松圓会 東葛クリニック新松戸 様



| 所在地 | 千葉県松戸市 | 竣工 | 2018年10月 | 用途 | 透析に使用するRO原水を加温
 | 熱源 | 透析排水
 | 設備仕様 | 透析熱回収ヒートポンプシステム ZQD - 100S
 | 補助金 | 平成30年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金 (再生可能エネルギー熱事業者支援事業)



院内



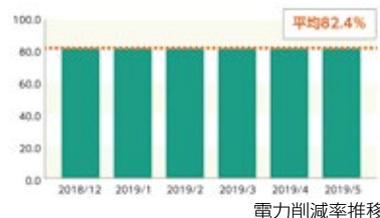
ヒートポンプ本体

東葛クリニック病院を中心として、東京都の小岩から、千葉県の松戸、柏、我孫子までの東葛エリアに通院の利便性に配慮した8つの透析施設を展開しており、常時1,000人以上の透析患者さんの維持透析を実施する東葛クリニックグループ様。2014年10月に東葛クリニックみらい様に透析熱回収ヒートポンプシステムを導入頂き、リピーターとして東葛クリニック新松戸の移転・新築に伴いヒ-

ートポンプを導入頂きました。従来、透析治療で消費される電力エネルギーの多くは、RO装置や透析装置で使用される電気ヒーターによる加温によるものであり、加熱された液体は治療後捨てられます。透析排水やRO濃縮水の熱を回収し、原水を加温することで電気ヒーターの稼働率を下げ、大幅な電力料金の削減が可能となりました。



外観



医療・福祉施設

	RO装置	HP	2、3F透析室	合計	
消費電力量 (kwh)	HP停止中	6261.0	0.0	6758.0	13019.0
	HP稼働中	702.1	1159.0	5862.3	7723.4
電力削減量 (kwh)	5558.9	-1159.0	895.7	5295.5	
電力削減率 (%)	88.8	0.0	13.3	40.7	

RO装置単体、透析室全体 (透析監視装置64台) におけるHPの効果

ヒートポンプ導入による効果

東葛クリニック新松戸様では、ヒートポンプ停止時と稼働時の透析室全体の消費電力を14日間ずつ測定されました。結果、ヒートポンプを停止時と稼働時の電力削減率は40.7%でした。

